

「香港中文大学サマープログラム参加報告書」

京都大学工学部工業化学科3年風木愛

- ① 私は今回のプログラムを通して基礎的な中国語力が身についたように感じます。もともと出発前はこのプログラムに行くにあたって準備していただいた留学生による10時間の中国語レッスンのみで、それ以外は少し独学で学んだくらいだったので、ほぼゼロからのスタートでした。街中で聞こえてくる中国語も呪文にしか聞こえなかったのが、今ではところどころ単語が聞き取れ、日常会話に関しては詳しくは分からなくてもなんの話題について話してるのか分かることもあり、勉強の成果を感じることができてとても嬉しかったです。初心者のクラスだったのでピンインや声調の練習をかなりやりましたがその甲斐もあって最初正しい発音ができなかったのが今では大分よくなったと思います。今回このプログラムで基礎力が身に付いたのでこの機会を活かして今後もさらに中国語を勉強していきたいと強く思いました。
- ② 香港に3週間もいたことで現地の文化に深く触れることができました。特に香港の食文化に触れる機会は多く、とてもいい経験になりました。また、放課後には文化体験のプログラムも用意されていて、そこで中国の印鑑作りを体験し、楽しく文化にも触れることができました。また、同じクラスには日本人以外にも韓国人やインド人の学生もおり、彼らとの交流は他国の文化を知る良い機会になりました。
- ③ プログラムの授業は午前中が9:30-12:15、午後が14:30-17:15で昼休みが長かったので電車で近くのショッピングモールに行き、お昼ごはんを食べたりもしました。放課後は街に繰り出したり、寮の中で卓球をして遊んだりしました。他の大学の学生たちとも仲良くなることができました。土曜日はランタオ島のツアーと香港の有名なお寺と博物館に行くツアーの二回が開催され、用意してくれたレストランのご飯がとても美味しかったです。日曜日は一緒に行ったメンバーとマカオに行ったり深センに行ったりしました。深センでは香港と違って普通話が話されているので、勉強の成果が確認できるいい機会でもありました。
- ④ 今回このプログラムに参加したことで中国語の基礎力が身に付いたので、今後もっと勉強してものにして、将来仕事の役に立てばいいと思いました。まずはHSKの受験に向けて勉強しようと思います。進路に直接的には大きな影響はないと思いますが、将来の可能性は確実に広がったと思います。